

日本小児看護学会 第 35 回学術集会での発表報告

1. はじめに

このたび、7月5日に開催された「日本小児看護学会 第 35 回学術集会」にて、当協議会の会長・小児部会メンバーを中心に登壇・発表を行いました。昨年より横浜在宅看護協議会では横浜市医療局の委託により学校・保育所等における医療的ケア児受入看護師支援の一環として、学校・保育所等の看護師へ技術指導等を行う支援看護師を養成・派遣しております。多くの関係者の皆様と情報交換ができ、非常に有意義な機会となりましたのでご報告いたします。

2. 学会概要

- ・開催日時:2025年7月5日(土)
- ・開催場所:TKP ガーデンシティ PREMIUM 仙台西口
- ・開催テーマ:”未来創世” –子どもと家族の今と未来を支える看護の探求–

3. 発表内容

・テーマセッション5

医療的ケア児まんなか「横浜型一看看連携」

—横浜市事業としての訪問看護・保育所看護・学校看護の協働—

企画代表者:若林 麻里(NPO 法人レスパイト・ケアサービス萌)

企画者:佐藤 朝美(横浜市立大学大学院医学研究科小児看護学研究分野)

小澤 愛(株式会社 GCI 訪問看護ステーション芍薬)

上松 康子(社会福祉法人十愛療育会横浜療育医療センター訪問看護ステーションえーる)

國藤 悟子(一般社団法人はる訪問看護ステーション)

本川 良美(認定NPO 法人おれんじハウスおれんじハウス星川保育園)

ファシリテーター:佐藤 朝美(横浜市立大学大学院医学研究科小児看護学研究分野)

話題提供者:河村 朋子(一般社団法人横浜在宅看護協議会)

本川 良美(認定NPO 法人おれんじハウスおれんじハウス星川保育園)

上田 万里子(横浜市立中村特別支援学校)

國藤 悟子(一般社団法人はる訪問看護ステーション)

発表では医療的ケア児受入看護師支援に関する当法人の取り組みについて報告し、現場での工夫や課題、今後の展望について共有しました。多職種連携や実践報告への関心も高く、活発な質疑応答が交わされました。

4. 会場の様子

以下、当日の様子を写真でご紹介します。



発表者が登壇する様子



会場の様子



新幹線での移動風景

5. 参加者の声(抜粋)

「取り組みについて、大変勉強になりました。横浜市の取り組みが、他の地域への参考や刺激になり、医療的ケア児への支援が進むのではと感じました。」

「今後、支援看護師による保育園看護師、学校看護師との連携が進むなかで、実際に支援を受けた保育園看護師・学校看護師が抱える課題について、別の園や学校で働く看護師同士の情報共有の場など何らかの形で困りごとが解決に向かうといいなと思いました。」

「大変貴重な事業報告をありがとうございます。訪問看護師が支援看護師になるとうことでしたが、学校での看護は、子どもが学ぶこと目的として教員と連携しながら医ケアを実施するという独特な看護や立ち振る舞いがあると思います。支援看護師の方、また支援 NS を育成する方はどのような経験を持っている方なのか、「学校」や「保育園」という場の理解について、支援看護師になるためにどのような研修をされているのかとても興味深いと思いました。また続きの報告をしていただけますと大変ありがたいです」

6. おわりに

今後もこうした学会への参加・発表を通して、地域の子どもたちや保護者の皆さまに還元できるよう、日々の実践に取り組んでまいります。